

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月11日
事業名	男女共同参画推進事業	担当課・係名	町民課 町民協働係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	10
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	性別による役割分業意識の解消、男女共同参画における共生社会の構築、意識啓発や環境づくりの実施。				
対象 (誰を・何を)	全町民対象 (DV被害者)				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画講演会の実施。(年1回) ・女性への暴力等に対するDV被害者を対象に、緊急一時保護事業に関する協定書に基づき施設と契約を締結し、一時保護の対応を行う。 				
根拠法令・条例等	男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	64	64	122
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	64	64	122
	職員人数 (概算職員数)	人			0.15
	人件費計 (b)	千円			691
総事業費 (a)+(b)	千円	64	64	813	
事業費内訳 H 25 年度	講師等謝金：42千円、旅費：6千円、消耗品：9千円、緊急一時保護施設負担金：65千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 審議会等委員数	人	251	251	251
	② 女性人口	人	16,822	16,727	16,756
活動指標 (活動量)	① 審議会女性委員登用数	人	49	49	49
	② DV相談件数	件	8	7	8
成果指標 (達成度等)	① 審議会女性委員比率	%	19.5	19.5	19.5
	② DV相談発生率	%	0.05	0.04	0.05

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 大磯町男女共同参画推進プランを平成18年3月に策定、計画に沿って男女が共に活躍できるような男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進する。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 講演会は、県かながわ女性センターと市町村が連携し、女性センターの持つ専門性、先進性を活かし事業展開することを目的としており、合同で事業に取り組んでいる。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 DV相談などは、一時保護が必要な場合を適時判断し対応するなど、専門機関と連携しながらの対応が出来ており、成果は得られていると考える。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 緊急保護施設と協定を結び、夫やパートナー等から暴力を受けている女性を民間のシェルター等を利用した際に負担金を支払う。平成13年度から24年度まで施設利用の実績はない。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 講演会講師の謝金について減額をおこなったが、講演内容や質の低下がないよう取組みたいと考える。緊急一時保護施設の協定による、施設の利用は現在までのところ実績はゼロであるが、緊急的な備えとして毎年予算計上をおこなっている。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 相談の対応は関係機関と連携した体制がとれており、施設との協定は緊急的な備えとしての意味合いが強く事業内容は妥当であると考え。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	DV被害者に対して、神奈川県や関連する部署と相談体制の連携・維持を図る。
② 平成26年度に着手する事項	大磯町男女共同参画推進プラン新計画の策定
③ その他（課題、調整事項等）	講演内容の充実、テーマの選定。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

年1回開催する講演会のテーマは、近隣自治体の開催状況も鑑みながら選定し、講演内容の充実化を図る。
--